図書館だより　第７号

令和６年11月６日
牛込第一中学校
学校図書館発行

一中祭を終えて、いよいよ秋が深まってきました。落ち着いたこの季節は、読書にぴったりです。新着本もぞくぞく入荷しています。
ぜひ、昼休みは図書館へ足を運んでくださいね！

図書委員会からのお知らせ

令和６年度「中学生のオススメの本」への投稿にご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。
昨年度のブックリストは、掲載されたオススメ本と一緒に窓側展示コーナーに展示しています。どうぞご覧ください。

また、図書館入口正面の棚、２段目に「図書委員のおすすめ」として、各委員のおすすめの本を展示中です！　こちらも手に取ってみてください。もちろん貸出可能です。

12 月 2 日から始まります。
イベントもお楽しみに！

＜展示コーナー紹介＞

犬の本　特集　（日本文学隣）

11 月 1 日は、日本では「ワン・ワン・ワン」と読んで「犬の日」とされています。図鑑や写真集、犬との触れ合いを語る本などを展示しています。ワン・ダフルな犬の本を見付けてください！

『犬語レッスン帖』
井原亮監修、大泉書店
昨年度の「中学生のススメの本」で紹介された本です。100 の Q&A で犬の気持ちを知って楽しく触れ合いましょう。

『八犬伝』　滝沢馬琴作、青い鳥文庫
江戸時代の滝沢馬琴が 28 年かけて書いた「南総里見八犬伝」の現代語版。物語と作者について映像化されています。

冬休み特別貸出期間について

冬休みの特別貸出し期間は、12月2日（月）～ 12月23日（月）です！
貸出冊数は、１人５冊まで　《冬休み中の貸出はありません》
期間中は、返却すれば5冊まで何度でも別の本を借りることができます。生徒手帳を忘れずに！

【11 月】図書館開館日

日	月	火	水	木	金	土
					1　◎	2
3 文化の日	4 振替休日	5　◎	6　◎	7　◎	8　◎	9
10	11　◎	12　◎	13　◎	14　◎	15　◎	16
17	18　◎	19　◎	20　期末考査	21　期末考査	22　期末考査	23 勤労感謝の日
24	25　◎	26　◎	27　◎	28　◎	29　◎	30

◎印　…　開館日　　貸出は３冊まで
借りた日の２週間後が閉館の場合、返却日は２週間後の次の開館日となります。
11 月 6～8 日に借りた本の返却日は 11 月 25 日です。

【展示：入口正面コーナー】

＜東京から江戸を探る＞

２年生は 11 月に校外学習で東京都内めぐりを行います。絵図や地図、写真などの資料から東京・江戸のルーツとその進化を探ってみましょう。実際に現代の東京を歩くとき、昔の名残や進化・発展の様子がうかがえて、楽しさ・面白さが深まります。

江戸のルーツは？

12 世紀の豊島郡江戸郷（現千代田区）。平安時代以来、武蔵国南部に勢力をもっていた秩父平氏の一部が、この地を支配して「江戸」を名乗る。江戸氏に関係する史跡は、将門首塚、神田明神など。
参照：池亨他編『東京の歴史 1』

学校名の「牛込」の由来は？

古代の武蔵国には「牛牧（ぎゅうまき）」と呼ばれた牛の放牧場があったとされ、「馬込」「駒込」の地名と同様、「牛込（うしごみ）」の由来とされる。
参照：池亨他編『東京の歴史４』

江戸氏と源頼朝

1185 年、源頼朝が武蔵国に入るとき、江戸重長が味方し有力な鎌倉御家人となる。参照資料 P106 に、支配地の江戸郷前島（現大手町付近）と日比谷入江の地図を掲載。神田川の右岸に牛込の地名も見える。
参照：池亨他編『東京の歴史 1』

江戸氏と牛込氏

1340 年、江戸氏に戦の勲功として「牛込郷」が給与される。江戸氏から牛込氏が分出。牛込柳町駅から北へ徒歩約 10 分の宗参寺に、牛込氏のお墓がある。
参照：池亨他編『東京の歴史４』

太田道灌と江戸城

関東管領、扇谷上杉氏の家老である太田道灌が、武蔵国東部の防衛拠点として 1457 年に江戸城を築城。この時代の江戸城に関しては後の想定図のみ残っている。太田氏はその後滅亡し、北条氏が江戸を治める。
参照：池亨他編『東京の歴史 1』

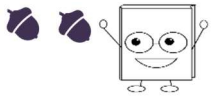
徳川家康と江戸のまちづくり

1590 年、徳川家康が豊臣秀吉の命により関東に国替え。江戸城の立て直しと「天下普請」によるまちづくりを開始した。神田上水・玉川上水を建設し、土砂は埋め立てに利用して耕地を拡大。水路や街道も整備し、今日の東京の基礎をつくった。
参照：池亨他編『東京の歴史 2』

江戸時代の「牛込御門外」

1636 年、３代将軍家光の時代に外濠が設けられ、見附「牛込御門」が置かれた。これ以降、牛込御門外は江戸守備のための武家地となり、旗本の屋敷や与力・同心の組屋敷などが設けられた。現在の「箪笥町」「矢来町」「山伏町」などは、当時の武家の居住や寺社の拝領を由来とする地名。
参照：菅野俊輔監『古地図で楽しむ神楽坂さんぽ』

安政地震とお救い小屋

1855 年 10 月２日、江戸の町を大地震が襲い、死者 4200 人、負傷者 2700 人に及ぶ犠牲が出た。地震後は町会所が中心となって握り飯が配られ、住まいを失った人を収容する「お救い小屋」が浅草広小路や上野広小路など５か所に設置された。参照資料 P144 に設置場所の地図あり。
参照：池亨他編『東京の歴史 2』

展示コーナーには、歴史的な資料だけでなく、東京都交通局監修『大江戸線物語』、長谷川敦著『人がつくった荒川』、滝井宏臣著『東京スカイツリーの秘密』など現代の東京の物語も展示しています。東京都内めぐりの前に、ぜひご覧ください!!